

DRAFT

O'Reilly Japan, Inc. Contract

監 訳 業 務 委 託 契 約 書

高橋 基信、宮本 久仁男（以下「甲」とする）と、株式会社オライリー・ジャパン（以下「乙」とする）とは、乙が出版する本契約別紙記載の翻訳書籍と DRM フリー電子書籍（以下両方を「著作物」という）の翻訳書籍の監訳に関する業務委託契約（以下「本契約」とする）を締結する。

第1条（定 義）

本契約における「本件業務」とは、本契約期間内において本契約別紙記載の「翻訳書籍」の翻訳原稿が技術的に正確で原文に対して適正であることの確認をし、日本市場を意識した加筆・修正を行ない、これらの業務に関する乙への定期又は不定期の報告をすることをいう。

第2条（委 託）

- 乙は甲に対し、本件業務を委託し、甲はこれを受託する。
- 2 監訳作業範囲は Praise for the First Edition of Practical Packet Analysis、Dedication、Acknowledgments、Introduction、Chapter 1-11、Appendix、About the Author とする。
 - 3 甲は、本契約別紙記載の終了期日までに乙の検査、承認を受けた監訳済み原稿（以下「監訳済み原稿」）を納入し、本件業務を終了させなければならない。ただし、翻訳原稿の仕上がりが遅れた場合は、甲と乙は、別途納入期日に付き話し合うものとする。また、本契約の有効期間中、自己の保有する、知識、経験、手腕により積極的に本件業務を遂行する。
 - 4 甲は、本件業務の遂行を第三者に再委託してはならないものとする。
 - 5 本件業務の内容の変更がある場合には、甲乙別途協議のうえ決定する。

第3条（権利関係）

- 甲は、第三者の著作権及び工業所有権等の諸権利を侵害するような行為はしないことを保証する。
- 2 本件業務の遂行において甲が製作・創作する創作物の著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に規定する諸権利を含む）及びこれら成果物は全て乙に帰属する。尚、甲は乙に対し、当該創作物につき、自らの著作者人格権を行使しないことを約束する。
 - 3 甲は、本件業務の遂行にあたり、第三者より著作権及び工業所有権等の使用許諾が必要な場合には、乙と協議のうえ、自己の責任と費用により当該権利者より適正な使用許諾を得るものとする。

第4条（作業用資料、器材等）

乙は甲に対して、本件業務の遂行に必要な原書を 1 冊と翻訳原稿（校正紙など）を提供する。

DRAFT

- 2 本件業務の遂行にあたって、コンピュータ本体、ソフトウェア、その他の器材等が必要な場合は、甲乙協議のうえ適正な環境を整備する。

第5条（監訳者の氏名表示）

乙は、監訳者として、本書籍のカバー、表紙、扉、奥付に甲の氏名を表記する。
また、必要に応じて甲の略歴、自己紹介を巻末に掲載する。

第6条（献 本）

乙は甲それぞれに対して、「本書籍」の発行後、見本として書籍2冊を献本する。

第7条（秘密保持義務）

甲および乙は、本件業務を遂行する上で知り得た、甲乙双方の営業上の秘密情報並びに技術的な秘密情報、ノウハウ、経営情報等（以下「秘密情報」という）を秘密に保持し、第三者に開示、若しくは漏洩し、あるいは、本件業務を遂行する以外のいかなる目的のためにも使用してはならないものとする。

- 2 甲および乙は、本件業務遂行のために必要な場合を除き、甲乙双方の秘密情報の複製、複写及び変更改作をしてはならないものとする。
- 3 本条は本契約終了後も存続する。

第8条（保 証）

甲および乙は、本件業務の委託により、甲および乙いずれかの責により発生し、相対する甲あるいは乙並びに第三者が被った損害について、責務者となる甲あるいは乙は、自己の責任と費用をもってこれらの一切を処理解決するが、処理に際しては、必要に応じて甲および乙は互いに協力の上で対処するものとする。

- 2 本条は本契約終了後も存続する。

第9条（監訳料等）

乙は甲より、終了期日までに監訳済み原稿を納入された後、甲に対して、別紙に記載する監訳料を同別紙に記載する支払方法に基づき支払うものとする。

- 2 本契約に関し、乙は甲に対し、前項に規定する監訳料を支払う場合を除き、その他に何らの金銭的債務を負わないものとする。

第10条（本契約期間等）

本契約期間は「本件業務」の全てが完了した時点まで有効に存続する。但し、本契約終了後において個別に存続する条項を定めてある場合には、当該条項は本契約終了後もなお有効に存続する。

- 2 乙の都合により本契約を解除する場合は、乙は甲に対し1か月前の事前の通知をすることとする。この場合に、乙は甲に対し、本契約の解約時点までに遂行された本件業務を評価のうえ報酬を算定し支払うものとする。
- 3 甲の事情により乙が本契約の解除を決定する場合には、甲と乙は事前に誠意を持って話し合い、報酬については協議するものとする。

DRAFT

第 11 条（協 議）

本契約に定めのない事項及び本契約の解釈に疑義ある事項については、その都度、
甲乙誠意をもって協議のうえ友好的に処理するものとする。

第 12 条（合意裁判管轄）

本契約に関して生じる一切の紛争解決について、甲乙双方は東京地方裁判所を専属
的合意管轄裁判所とする。

甲乙両当事者は本契約締結の証として、本契約書を 3 通作成し、甲乙各自記名押印のうえ、
それぞれ 1 通ずつ保有するものとする。

2012 年 月 日

甲

高橋 基信

（住所・捺印）

宮本 久仁男

（住所・捺印）

乙

東京都新宿区坂町 26 番地 27

インテリジェントプラザビル 1F

株式会社オライリー・ジャパン

代表取締役社長 ジョン・ムーア

DRAFT

別紙

- ・「著作物」名称

「実践 パケット解析 第2版（仮題）」

原書名： Practical Packet Analysis, 2nd Edition

原著者： Chris Sanders

原書ISBN： 1593272669 (978-1593272661)

原書出版社： No Starch Press, Inc.

- ・「本件業務」の終了期日

2012年8月31日とする。

- ・ 監訳料

乙は甲に対し、この監訳委託の対価として150,000円（以下「監訳料」）を支払うものとする。甲はこれを案分する。

- ・ 支払方法

甲は乙に対して、「本書籍」の出版月の末日までに監訳料に対する請求書を発行する。
乙は甲の発行した請求書を出版月の末日を締日とし、その70日後（各月10日）に、別途甲の指定する金融機関の口座に支払うものとする。但し、上記監訳料の支払日が金融機関の休日の場合には、当該休日の翌営業日に支払う。

以上